

麓山の杜 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

🍁 園内も秋の装い 🍁



ガーデニングワポイト

【水やり】 8月中旬からの雨が、植物には恵の雨となりましたが、水はけの悪い土地での長雨は根腐れの状態を引き起こし、何事も程々がいいものです。これからの季節でも、乾燥した場合は水やりが必要です。土の乾燥具合を確かめてください。

【肥料】 多くの樹種は、この時期には必要ありません。あげてしまうといつまでも成長し続け、寒さの害を受ける場合があります。

【病害虫防除】 葉の裏にいるイラガに刺されると、強い痛みがあります。多くの広葉樹に発生します。目立ちにくい色をしているイラガを退治するには、殺虫剤を葉の裏までまんべんなく散布します。マツ類には、マツカレハの若齢幼虫がいます。これも早めに退治しておきます。アブラムシ、カイガラムシも活動しています。病害虫のついた葉などは、綺麗に掃き集め来年に持ち越さないようにします。これが少しでも発生を少なくする事になります。薬剤散布は、なるべくしないで済むのがベストです。ただ無農薬で育てるのは至難の業です。仮に、使用する時は注意事項があります。薬剤は、登録された作物と病害虫が指定されています。その薬剤の効果がある場合でも、登録されていない場合は使用できません。また、散布回数も濃度も決められています。安全に使用する為には、最低限守る事が決められてい

🌱 10月のみどり講習会 🌱

日時：10月18日（日）10:00～12:00

場所：とんがりふれあい館（交流施設）ホール

内容：①記念樹の育て方初歩講座

②季節のワポイトアドバイス

（エコ活動「腐葉土の作り方」について）

対象：記念樹申請者、受講希望者



🌿 植物は一足早い秋の装い 🌿

ます。

【剪定】 常緑針葉樹や広葉樹は、伸びた枝先を切る程度の弱めの剪定をします。剪定後に芽が出なかったり弱い芽しか吹かないで冬越しすることで弱ってしまったりと来年の芽吹きが悪くなります。またマツ類は今年に伸びた枝は切らないようにします。ただ混み過ぎた内側の枝や徒長枝を切り、風通しを良くして病害虫の防除をします。落葉樹は、落葉後まで待ち、その後は強めの剪定が可能になります。ただし、花木は来年の花芽がありますから注意して剪定をします。

【植え替え】 落葉樹は、剪定と同じく落葉後まで待ちます。ただボタンやシャクヤクは、この季節が植え替えの適期になり、休眠をして来春先から早めに動きだし花を咲かせます。常緑針葉樹や広葉樹は、この時期に可能です。しかし、郡山市の場合は冬の寒さがある為に適期とは言えません。その後の活着率は、春先に比べると落ちます。庭の雑誌などに、植え替えに向いていると書かれている事がありますが、これは冬の寒さの違いからくることです。少しでも活着率を高めるためには、灌水や敷きわらなどに注意をはらいます。これから咲きだすサザンカが園芸店に出回りますが、暖かい産地で生産された植物は、寒さによって枯れてしまう場合が多々あります。観賞時期と植え替えの時期は、違うということです。

【10月 緑化フェア日程】

タイトル	日時	内容	場所	定員
郡山カルチャーパーク 緑化フェア	10月4日(日) 10:00~12:00	・ハナカツミ講習会	郡山カルチャーパーク プール前通路テント	先着30名

【10月 みどり講習会日程】

タイトル	日時	内容	場所	定員
みどり講習会 記念樹の育て方初歩講座	10月18日(日) 10:00~12:00	・エコ活動 「腐葉土の作り方」について	とんがりふれあい 館ホール	・記念樹の申請者 ・受講希望者



【みどり講習会の内容】(植物にとって良い土壌とは?)

9月のみどり講習会で、樹木にとってどのような土が好ましいかという話がありました。適した土壌条件? 皆さんは何が必要と思いますか。

それは、次の主な6項目 ①保水力②排水性③通気性④保肥力⑤適当な硬度⑥酸度があげられますが、ほかにもいろいろ関係してきます。植物に適した環境でないと順調に育たないので、土壌改良が必要となります。次月号は、もう少し詳しく書いていきますので、お楽しみに。

【杜の花壇の様子】



【街で見かけた植物】

【タマアジサイ】玉紫陽花(ユキノシタ科アジサイ属)

8月の終わりに郡山市湖南町で見かけました。近くにはブナの林が続いています。このアジサイは福島県以南から中部地方にかけて山地の谷間や沢などに自生しています。中心に淡い紫色の両性花を密生させ、周囲には装飾花がつきます。ガクアジサイのような咲き方です。8月から10月にかけて咲き続けます。和名は、開花前の蕾が球形をしているところから名づけられました。少し足を延ばすと私達の周りにもいろいろな植物を見かける事ができます。皆さんも小さな秋を見つけに出かけてみませんか。



**** みどりのつぶやき ****

朝夕の冷え込みと共に落葉樹は紅葉を始めますが、異常に早く色づいたり、また茶褐色に変色したり、そして早く落葉してしまう場合があります。これは、樹木に異常があると考えられます。たとえば、弱っているケヤキは、小枝ごと折れて風に吹かれて遠くまで飛んでいきます。そして、種子がそこで発芽して新しい命を育て成長します。無駄なく生かされていく自然の摂理、人間もそうありたいもの。

